

1. 第三者評価結果概要表

作成日 平成20年 1月 7日

【評価実施概要】

事業所番号	2875201101		
法人名	有限会社 パートナー		
事業所名	グループホーム パートナー伊川谷		
所在地	〒651-2116 神戸市西区南別府4丁目368-1番地 (電話) 078-977-0311		
評価機関名	特定非営利活動法人福祉市民ネット・川西		
所在地	川西市中央町8-8-104		
訪問調査日	2007年11月20日	評価確定日	2008年1月7日

【情報提供票より】 平成19年10月1日事業所記入

(1) 組織概要

開設年月日	平成 14年 11月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	24 人	常勤 4人, 非常勤 20人,	常勤換算13.675人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋	造り
	4階建ての	~3・4階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	55,000 円	その他の経費(月額)	30,000 円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(500,000 円)	有りの場合 償却の有無	有
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 5,000/月 円
	または1日当たり 1,000 円		

(4) 利用者の概要(10月1日現在)

利用者人数	18名	男性 5名	女性 13名
要介護1	1名	要介護2	3名
要介護3	7名	要介護4	6名
要介護5	1名	要支援2	
年齢	平均 85.6歳	最低 74歳	最高 97歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人社団健裕会 中村医院、川井田泌尿器科、おおた歯科
---------	------------------------------

【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

・グループホームは4階建て建物の3、4階部分にあるが、その同一建物のなかに医療機関がありホームの協力医院になっている。医療と住居の近接で利用者や家族も安心である。利用者が主体的に生活リズムを作り、健康や楽しみを持ち続けられるよう、ホームは環境作りに努力している様子がうかがえる。今後はグループホームの利点とすべき地域密着を課題として、利用者が加齢とともに心身状況も変化していくことに留意しつつ、さらに地域と交流し地域にとけこんだ生活を送れるよう工夫することが望まれる。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:第三者4)
	・前回の改善点である玄関エレベーターの出入り確認は、セキュリティの目的でチャイムを設置した。職員は出入りの有無が把握しやすくなった。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:第三者4) ・管理者が、フロア主任に聴き取りしてまとめたようだが、全構成員の積極的参加のよい機会であるので、できることなら職員自らが自己評価を実施するような取り組みが期待される。今回を機に職員間での検討をされることが望まれる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:第三者4,5,6)
	・地域からは民生委員、婦人会役員、警察官などが利用者や家族と食事をともにしながら話し合いが行われている。ホームの実情をよく理解しホームへの関心を強くしていただくため、現在はホームから問題を提起しているが、順次、サービス問題にもテーマを広げ、ホーム機能の向上に役立てるようにしていくことが大切と思われる。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:第三者7,8)
	・普段の来訪時や家族会で、個別の時間を取り相談や意見を言ってもらえるよう努めている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:第三者3)
	・地域主催の行事に全利用者が出かけしていくのは困難であろうから、地域の人々がホームの行事にたくさん参加できるよう、機会を増やし魅力を工夫して門戸を広く開放し敷居を低くする努力が望まれる。地域の人々との日常生活での接触はすべてお隣さんやご近所づくりであり、地域に根ざしたグループホームとしての発展が期待される。

2. 第三者評価結果票

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	・人間としての尊厳を大切に、個性を生かした理念を心がけている。地域は、旧来の村の住民と新しい住民とのグループ間や世代の格差が大きく交流し難い。		・その人の生活を支えるためには地域との関わりが必要である。地域に生活する利用者への支援が理念に反映される工夫が望まれる。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	・毎月のミーティングや毎朝の申し送りで個々の利用者の尊厳について、再確認している。		
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	・自治会、老人会、子ども会等にホーム主催の行事への参加を呼びかけている。外出や散歩時には、積極的に地域の人々に挨拶をしている。		・利用者の状態が低下していくなかでの地域への参加は限られてくるが、ホームを交流の場とした工夫が必要と思われる。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	・前回の改善点としては、玄関エレベーターにセキュリティの目的でチャイムを設置し、出入りが確認できるようになった。自己評価はフロア主任を中心に聴き取りをし、管理者がまとめた。全職員には閲覧により周知している。		・自己評価の項目ごとに各自が振り返ることで、気づきが得られ、職員間での共有に繋がる機会ともいえる。再度検討されることを望みたい。

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>・地域からは民生委員、婦人会代表、警察官などと、利用者及び家族は参加できる人に入ってもらい昼食を囲みながら意見交換している。議題はホームから提案して意見を引き出すよう努めている。</p>		
6	9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>・西区グループホーム連絡会には、市の担当者が定例出席し、情報交換している。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>・日々の利用者の様子だけでなく、利用者や職員紹介も写真掲載の情報誌を毎月送付している。健康面や個別の事項については、その都度電話で話し、家族会でも個々に時間をとり相談報告している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>・来訪時と併せ、家族会で個別の時間を取り要望等を出してもらうよう努めている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>・出来るだけ職員が変わらないよう配慮している。離職による新スタッフについては主任及び施設長が2ヶ月ほどついて指導を行う。フロア全体で利用者への影響を防ぐよう努めている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>・毎回のミーティングやカンファレンスの時間を利用して職員から要望の上だったテーマについて学習している。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>・3ヶ月ごとに開催される西区グループホーム連絡会では、各ホームから出る質問や対応方法について意見交換している。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>・体験入居を活用し、利用者に馴染んでもらう支援をしている。入居後は家族の協力を得ながら自然に馴染む配慮に努めている。</p>		
13	27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>・利用者から学ぶ姿勢を保ちつつ、安易に手を出さず、時には一緒に協力しあう関係を築くよう努めている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>・入所時だけでなく、家族の来訪時に聴き取り相談している。これまで生きてきたその人の持ち味を大事にしつつ、日々の観察を重視している。</p>		
2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>・毎月のカンファレンスで個別に検討し、家族には現状を知ってもらいつつ、本人の思いを把握するための相談をしている。問題のある人や把握しにくい利用者については、職員全員からの意見を基に検討している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>・入退院時や必要に応じて見直しを行っている。日々の様子での変化を見落とさないよう意識している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>・医療連携体制を活かして、医療処置を受けながらの生活の継続、重度化した場合や看取りの支援をし、利用者と家族が安心して暮らし続けていくため必要な多様な機能の提供ができています。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>・協力医の往診が週一回ある。協力医とホーム利用前から信頼関係がある人もいる。往診日以外も対応可能な連携が取れている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>・契約時に管理者、家族、協力医、看護師で、重度化や終末期に向けた方針について話し合っている。希望すればホームで利用者が終末期を迎えられるように全員で方針を共有している。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>・声かけや介助は利用者の誇りを傷つけないよう、個人情報是他者に漏れないよう、事業所はプライバシーの保護に努めている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>・時間がかかっても、食事はできるだけ自力摂取してもらい、車椅子の移動もできるだけ介助なしで行う等一人ひとりの持てる力と、ペースにあわせるよう支援しているが、十分ではないと事業所は考えている。</p>		<p>・その人らしさを引き出すのはむずかしいが、買物や散歩等、少人数での活動の支援の工夫を望みたい。</p>

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・食事作りから片づけまで、できるだけ利用者にも参加してもらうように声かけしている。おかずは食べやすいように一枚の大皿に盛っている。運営推進会議で家族から、小鉢に盛って欲しいと意見が出たとのことである。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	・入浴は希望を聞いて、時間を決めている。同性介助で羞恥心に配慮している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	・裁縫の得意な利用者には雑巾を縫ってもらったり、大正琴の得意な方の演奏に合わせて皆で歌を歌ったり、得意分野で力を発揮してもらえよう支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	・ホームの裏の川沿いを散歩したり、庭でお茶を飲んだり、戸外に出るように努めている。全員で外食に行ったり、フロア毎に一泊二日の旅行にもいった。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	・前回の外部評価で指摘され、日中は鍵をかけていない。エレベーターの出入り口にセンサーをつけて来訪者や利用者の外出がわかるようにしている。		・利用者が出て行く気配を職員が見のがさない見守りや連携をさらに期待したい。

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>・避難訓練を利用者と一緒に年2回行っている。夜間緊急時ファイルを作り、夜勤者が管理している。火災通報装置が消防署に通じている。近隣のお米屋さん・薬局に協力を頼んでいる。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>・食事と水分摂取量を毎日記録している。水分摂取が少ない場合は、好みの飲み物を提供する等工夫している。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・季節の花や、利用者と職員で作った飾り物で季節感を取り入れ、気の合う人と座れるようテーブルの配置に気を配っている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・馴染みの物を持って来てもらい、環境の変化に配慮している。持込のない人には、事業所で家具等を準備し使ってもらっている。</p>		

 は、重点項目。